東京芸術座 公演

# おんやりょう

蹲きながらも
理想に向かって挑もうとする
人びとの物語

ONYARYO

Written & Directed by Yuko Naito



6,058,189



39,111

作・演出 | 内藤裕子

東京芸術座 公演

作・演出｜内藤裕子

# おんやりょう

とある地方の消防署の朝。
兼業農家を営む隊員同士の農業談義から始まる。その間にも緊急出動要請が下りてくる。
中には緊急性のない「119 番常連」もいるが、出動要請があれば駆けつけざるを得ない。
不満をもらしつつ事務をこなす者、訓練に励む者、訓練をさぼろうとする者……。
24 時間勤務の中で、現場にかけつける消防隊員の中でも
救命を第一義とする救命士と一般消防士の間の軋轢がおこる。
佐伯智子は同僚との結婚を考えているが、
救命士になる夢はあきらめきれず悩みを抱えている。
人助けが日常である隊員たちもそれぞれ
人間としての生活や感情を持つ人間なのだ。
仕事に情熱を燃やし、
躓きながらも理想に向かって懸命に働く
消防署の人々の
ある一日のおはなし。


梁瀬龍洋


神谷信弘


脇 秀平


さとうゆい


森 路敏


中新井美穂


松並俊祐


小川拓郎


中屋力樹


吹田真実


笹岡洋介





STAFF　美術｜幡野　寛　照明｜佐々木真喜子（(株)ファクター）　音響効果｜穴沢　淳　舞台監督｜たかのきよこ
演出助手｜梅田雪那　照明 OP｜関定己　音響 OP｜馬上真勝　制作｜嶋田みどり　協力｜green flowers・東京消防庁石神井消防署





「おんやりょう」とは江戸木遣り唄の「さあ、いくぞ」という意味だという。
いざという時、わだかまりを捨て、ひとつの目標に向かって「さあ、いくぞ」と力を発揮出来る組織はどうあるべきなのか。
組織を作っているのは人間であるという当たり前のことを思い出させてくれる舞台だった。　【劇評】の一部より

## 札幌えんかん　2026年12月観劇会

12月7日(月)19:00
8日(火)12:30　託児あり

## 会場：カナモトホール(札幌市民ホール)

（札幌市中央区北1条西1丁目）

◎主催・問い合わせ
札幌えんかん　☎011・241・7081
https://sapporo-enkan.com/

### ✵ 札幌えんかん　入会のご案内 ✵

会費を1年間積み立てて、その会費でさまざまな演劇を
定期的（年間５～6本）に鑑賞している会員制の市民団体です。
会員だけで運営しているので「観劇料」は不要です。
一般券・当日券はありません。３人以上のサークル(グループ)を
組んで入会するか、お知り合いのサークルにお入りください。
３人揃わない場合はご相談ください。
原則として１年以上は続けて下さい。
■入会金：1,500円
※新しいサークルを作って入会すると、会員全員の入会金が無料
■月会費：大人3,300円　学生2,000円　中高生1,000円

### ✵ これからの観劇会 ✵

2月　劇団俳優座「猫、獅になる」　2月24日(水)・25日(木)　カナモトホール
4月　劇団前進座「あかんべえ」　4月29日(木祝)・30日(金)　カナモトホール